江津市再生可能エネルギー農山漁村活性化協議会
令和８年度総会議事録

１．開催日時　２０２６年9月３０日（水）10：00～11：30

２．開催場所　江津市役所　２階会議室２－２

３．構成員数　出席数８名（出席者名簿のとおり）

※組織する構成員８団体のうち７団体の出席により開会

４．議題

（１）農山漁村の活性化に関する昨年度目標の達成状況についての評価

- 目標…発電量：年間 100,584 千 kWh

地域産木材を使った木質チップ使用量：83,000 トン

- 実績…発電量：年間 101,331 千 kWh（達成率約 100.7%）

地域産木材を使った木質チップ使用量：84,466 トン

（２）農山漁村の活性化に関する今年度目標について

- 計画…発電量：年間 100,889 千 kWh

地域産木材を使った木質チップ使用量：83,000 トン

５．その他

【質疑応答】

質問：江津市　農林水産課

・江津市の計画における目標値である地域産材木質チップ 83,000 トンに対しては目標達成しているものの、農林水産省ガイドラインにおいては地域に存するバイオマスを原則８割以上確保するものを要件としていることから、この点について関係者の意見をうかがいたい

回答：しまね森林発電　所長

・島根県素材流通協同組合からは毎年度協定に基づいた燃料チップの納入をしていただき感謝している

・地域産材の燃料チップの供給量が増えることは発電所の収益向上にもつ

ながる

・発電に必要な熱量を確保するためにはPKSの活用をゼロにすることはできないが、燃料チップの投入ラインの能力には余裕があることから、供給量が増加しても発電所として受け入れることは可能

・島根県素材流通協同組合からの供給量を増やしていただければ、しっかりと活用させていただき、地域材の割合が８割を超えるように努力していきたい

回答：島根県素材流通協同組合　事務局長

・これまでしまね森林発電との協定に基づき、必要な量の燃料チップを納入している

・地域資源バイオマスの認定を受けて出力抑制の影響を受けなくなったことは、当組合員が計画的に燃料チップの生産・供給を実施できることにつながり、各社の経営の安定化にも大きな影響を与えている

・出力抑制が無くなって設備トラブルも減っているように感じており、緊急の受入停止も起こることが無くなり供給側として計画的に搬入出来るのでありがたい

・今後も地域産材の燃料チップの供給量をさらに増やしていくよう努めていきたい

以上

江津市再生可能エネルギー農山漁村活性化協議会

令和８年度総会出席者名簿

No.	関係	所属	役職	出欠
1	関係住民	松平たすけ愛協議会	会長	○
2	原料供給者	島根県素材流通協同組合	事務局長	○
3	学識経験者	島根県農林水産部林業課	調整監	○
4	林業団体	江津市森林組合	組合長	○
5		播磨屋林業株式会社	業務部長	×
6		邑智郡森林組合	組合長	○
7	発電事業者	合同会社しまね森林発電	所長 副所長	○ ○
8	事務局	江津市農林水産課	課長	○

当日の様子　　江津市役所にて

